

平成21年度 未来工学研究所 研究発表会（無料）

1. 日時

2009年11月17日（火曜）
13：15～17：00（開場13：00）

2. 会場

「KKRホテル東京」 11F 孔雀の間
住所：東京都千代田区大手町1-4-1 電話：03-3287-2932
<http://www.kkr-hotel-tokyo.gr.jp/000/access.html>

東京メトロ東西線「竹橋駅」(3b 出口直結) 地図参照

3. プログラム

開会あいさつ（13：15） 未来工学研究所

特別講演：「競争力のからくり～技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか～」
妹尾 堅一郎（東京大学特任教授）

（13：20 - 14：20）

もはや技術がイノベーションの必要十分条件の時代は終わった。標準化を含めた知財マネジメントを駆使する戦略的なイノベーションシナリオが勝敗を左右する。インテルインサイド、アップルアウトサイド等、新時代のビジネスモデルを読み解いていきたい。

発表1「イノベーション過程のモデル化と観測」

（14：20 - 15：05）

主席研究員 上野 元治

コメンテータ：鈴木 潤 政策研究大学院大学教授

イノベーションとは「技術や考え方により新たな社会・経済的価値を生み出すこと」である。本発表ではイノベーション過程を、技術革新と市場創造のインタラクションとしてモデル化し、これにより研究開発活動や市場・産業動向を観測する方法を提案する。これにより、事実に基づくイノベーション過程の把握が可能となる。

<コーヒープレイク>（15：05 - 15：20）

発表2「高度人材育成の光と影 - 博士課程修了者の希望と憂鬱」

（15：20 - 16：05）

主任研究員 依田 達郎

コメンテータ：有信 睦弘（株）東芝顧問

高度人材の育成において大学院博士課程教育の果たすべき役割は重要である。しかし、近年、博士課程の入学定員の充足率は低減傾向にあり、就職率にも大きな向上が見られない。本発表では、博士課程修了者を対象とする意識調査の結果を軸に、いかにすれば博士課程修了者を日本社会において有効に活用していくことができるか、そのために必要な政策について考える。

発表3 「イノベーション創発のための地域クラスター政策」

(16 : 05 - 16 : 50)

主任研究員 川島 啓

コメンテータ：平澤 玲 東京大学名誉教授、財団法人未来工学研究所副理事長

クラスター政策は第3期科学技術基本計画において「地域イノベーション・システムの構築と活力ある地域づくり」を目指すものとして重視され、重点的な予算配分が行われてきた。クラスター政策はその政策目的に従えば、短期的な成果を競うものではなく、実施地域が活性化したかどうかを評価しなければならない。本研究はD I Dなどの分析手法を用いて、クラスター政策の社会経済的インパクトを定量的に分析した初めての試みである。

閉会 (16 : 50) 未来工学研究所所長 長谷川洋作

参加申し込み（無料）は、以下からお願いいたします。

【申込みフォーマット】 https://www.iftech.or.jp/mirai_entry1117.htm

【FAXでの申込み】氏名・所属・連絡先を記入の上、03 - 5245 - 1061まで。

申込み締切は11月16日（月）となっております。

（先着順で、可能の場合には申込受付の連絡はいたしません。ご了承ください。

定員になり次第、締め切らせていただきます。）

【お問い合わせ先】

発表内容に関して

和田雄志 電話：03 - 5245 - 1012

会場などに関して

片倉奈保子 電話：03 - 5245 - 1011

「KKRホテル東京」のご案内

